

富山県感染症発生動向速報

(2025 年第 51 週分・12 月 15 日～12 月 21 日)

※第 52 週分は 2026 年 1 月 6 日 (火) 発行予定です。

■今週の主な動向

○インフルエンザの報告数は、依然として多い状況です。

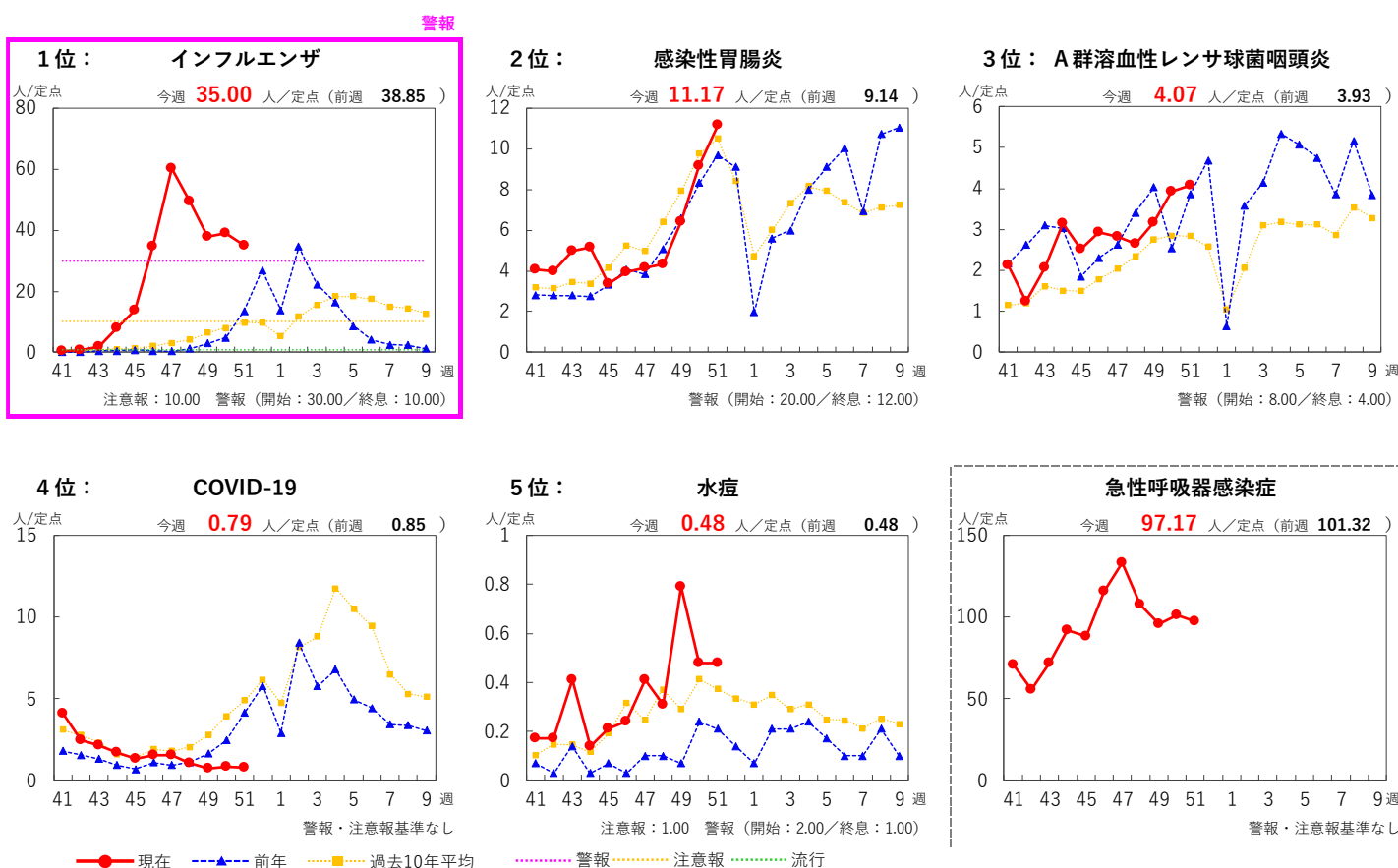
県内の患者報告数は今週 35.00 人/定点となり、先週 (38.85) から減少しましたが、依然として多い状況が続いています。引き続き、感染予防及び感染拡大防止のため、手洗いや咳エチケット、換気などの基本的な感染対策を心がけましょう。(インフルエンザの疫学所見、今週のインフォメーション参照)

○感染性胃腸炎の報告数増加が続いています。

小児科定点からの患者報告数は今週 11.17 人/定点となり、先週 (9.14) から増加しました。ウイルスや細菌などが主に食品や手指を介して口から入ることによって感染するため、トイレの後や、調理・食事の前には、石けんと流水で十分に手を洗って予防しましょう。(第 46 週インフォメーション参照)

■定点報告の感染症

今週の富山県内上位 5 疾患 + 急性呼吸器感染症 (第 51 週・12/15～12/21)

厚生センター (保健所) 管内別、直近の推移: <https://www.pref.toyama.jp/1279/kansen/#b1>

■全数報告の感染症

四類感染症 オウム病 1 件 (80 歳代、男性)

五類感染症 侵襲性肺炎球菌感染症 1 件 (第 49 週診断分: 80 歳代、男性)

百日咳 1 件 (10 歳未満、女性)





インフルエンザ 引き続き流行拡大に注意！

《インフォメーション》

●インフルエンザ

インフルエンザは季節性があり、例年冬季から春季にかけて流行します。流行時期に合わせ、毎年第 36 週（8 月末～9 月初旬）から翌年の第 35 週までの 1 年間をインフルエンザシーズンとして情報提供が行われています。

全国のインフルエンザ患者報告数は、第 39 週に流行入りの目安である 1.0 人/定点を超え、その後、第 46 週に

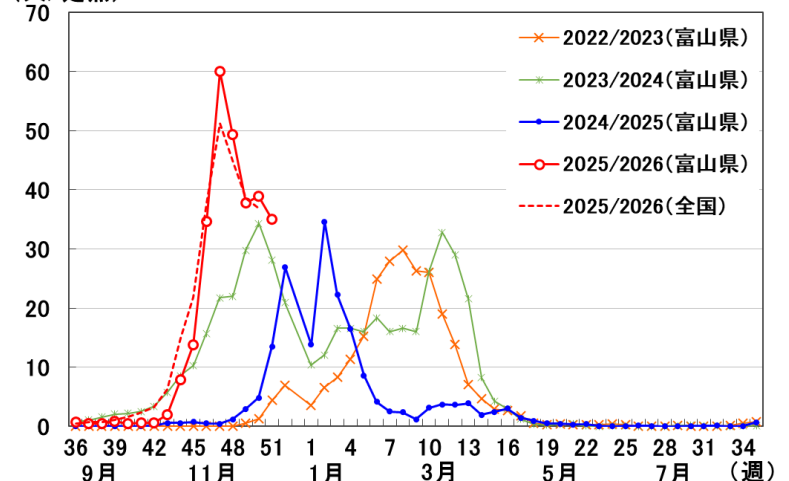
は 37.74 人/定点となり、警報レベルの開始基準である 30.0 人/定点を超えました。全国の報告数は第 47 週の 51.12 人/定点から減少傾向にありますが、年末年始は帰省や旅行、会食などで人の移動や接触機会が増えるため、今後の流行状況には注意が必要です。

富山県では第 43 週に流行入りし、第 46 週に警報開始基準を超えました。今週は 35.00 人/定点の報告があり、先週（38.85 人/定点）から減少しました（図、赤実線）。年代別にみると、先週と比較して、今週は 10～14 歳、20 歳代、80 歳以上で増加した一方、その他の年代では減少しました〔[インフルエンザの疫学所見（2025/2026）](#)〕。また、第 51 週のインフルエンザ様症状による学級閉鎖等の報告数は、47 件（小学校 28、中学校 10、高等学校 8、その他 1）でした（[富山県インフルエンザ関連情報](#)）。依然多くの患者数が報告されており、引き続き動向を注視する必要があります。

定点医療機関における迅速診断キットの結果では、今シーズンは A 型が主体となっています。富山県衛生研究所で 9 月、10 月に実施したインフルエンザウイルス亜型の検出状況は、8 件中 7 件が AH3 亜型（87.5%）、AH1 亜型が 1 件（12.5%）でした。2025 年夏以降、国内外において、インフルエンザウイルス A/H3N2（subclade K）が流行の主流となっています（[厚生労働省_新型インフルエンザ等対策推進会議資料](#)）。富山県においても、10 月および 11 月上旬に県内の医療機関で採取された臨床検体について検査したところ、インフルエンザ AH3 陽性 5 検体のうち、4 検体がサブクレード K でした。インフルエンザワクチン接種には重症化予防効果があることから、ワクチン接種を検討しましょう。

インフルエンザの主な感染経路は飛沫、接触感染です。感染対策として、手洗い、マスクの着用を含む咳エチケット、適切な換気の実施が重要です。また、発熱や咳等の症状がある場合は無理をせず、外出を控えるようにしましょう。

（人/定点）インフルエンザ患者報告数の推移（全国・富山県）



○感染症発生動向調査報告状況（2025年第51週 2025年12月15日～2025年12月21日）

分類		疾患	今週報告分（第51週）						累積報告数（2025年第1週（2024年12月30日）～）					
			新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計
全数把握	二類感染症	結核							6	2	19	13	48	88
		（再掲）結核：無症状病原体保有者を除く							5	1	12	7	30	55
	三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症							2	1	7	3	4	17
	四類感染症	E型肝炎									5		2	7
		A型肝炎								1	1		1	3
		オウム病			1			1			1			1
		重症熱性血小板減少症候群 (SFTS)									1			1
		デング熱									1			1
		レジオネラ症							1	1	7	3	18	30
	五類感染症	アメーバ赤痢									1		2	3
		カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症									4		5	9
		急性脳炎									1	1	1	3
		劇症型溶血性レンサ球菌感染症							1		4		11	16
		後天性免疫不全症候群（H I V感染症を含む）									1		1	2
		ジアルジア症										1		1
		侵襲性インフルエンザ菌感染症							2		1	3	4	10
		侵襲性肺炎球菌感染症							5		8	4	24	41
		水痘（入院例）							1		1			2
		梅毒							5	2	9	4	32	52
		百日咳					1	1	29	143	148	45	281	646
		風しん										1		1
定点把握（上段：報告数、下段：定点医療機関当たりの報告数）	急性呼吸器感染症（ARI）定点（47定点）	急性呼吸器感染症（※1）	384	472	1,316	484	1,911	4,567	12,159	11,230	41,237	10,722	52,090	127,438
			54.86	94.40	101.23	69.14	127.40	97.17						
		インフルエンザ	209	219	299	227	691	1,645	2,343	2,030	5,115	2,412	7,961	19,861
			29.86	43.80	23.00	32.43	46.07	35.00						
	小児科定点（29定点）	COVID-19	12	1	4	11	9	37	1,732	715	1,936	1,538	1,835	7,756
			1.71	0.20	0.31	1.57	0.60	0.79						
		R Sウイルス感染症	2	7	3	1	13		76	76	383	61	412	1,008
				0.67	0.88	0.75	0.10	0.45						
		咽頭結膜熱	1	2	8		1	12	86	47	346	7	125	611
			0.25	0.67	1.00		0.10	0.41						
		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	4	2	50	17	45	118	187	303	1,911	253	2,470	5,124
			1.00	0.67	6.25	4.25	4.50	4.07						
		感染性胃腸炎	22	27	80	33	162	324	1,376	854	1,674	628	5,457	9,989
			5.50	9.00	10.00	8.25	16.20	11.17						
		水痘		2	5		7	14	11	99	99	26	336	571
				0.67	0.63		0.70	0.48						
		手足口病							4	8	60	17	70	159
		伝染性紅斑	1	2	4		3	10	153	334	796	165	1,258	2,706
			0.25	0.67	0.50		0.30	0.34						
		突発性発しん		3	5	1	5	14	15	35	144	38	167	399
				1.00	0.63	0.25	0.50	0.48						
		ヘルパンギーナ	2					2	33	56	290	62	226	667
			0.50					0.07						
		流行性耳下腺炎					1	1	4	12	9	10	33	68
							0.10	0.03						
	眼科定点（7定点）	急性出血性結膜炎									5	95		100
		流行性角結膜炎							12	19	32	26	3	92
	基幹定点（5定点）	細菌性髄膜炎					1	1				1	2	3
							1.00	0.20						
		無菌性髄膜炎										1	1	2
		マイコプラズマ肺炎	1			1		2	29	10	44	40	18	141
			1.00			1.00		0.40						
		感染性胃腸炎（ロタウイルス）									5			5
	入院サーベイランス（5定点）	インフルエンザ による入院患者（※2）	1	5	1	3	6	16	25	14	31	23	58	151
		COVID-19 による入院患者			1		6	7	134	113	105	157	338	847

本週報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。

※1 急性呼吸器感染症は2025年第15週（4/7～）より開始しました。（参考： <https://www.pref.toyama.jp/1279/kansen/topics/ari/> ）

※2 インフルエンザによる入院患者累計報告数は、2025年第36週（9/1～）の集計です。

インフルエンザ情報（富山県の型別患者報告状況）

このデータは、定点医療機関で実施されたインフルエンザ迅速診断キットの診断数を集計したものです。

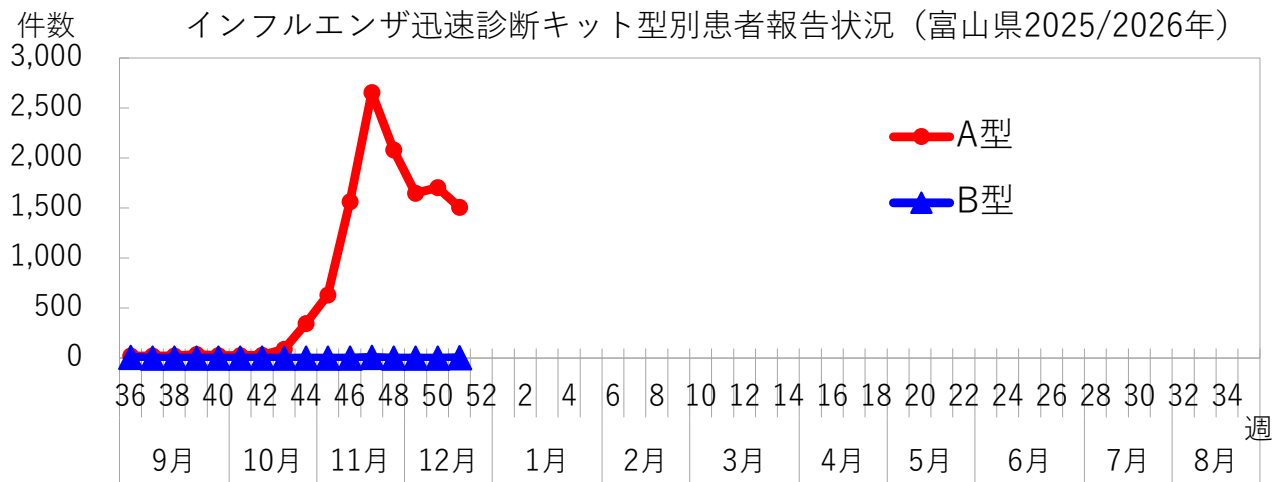
現在、下の表によると、A型が91.6%となっています。

第51週（12/15～12/21）：富山県 35.00人/定点（単位：件）

厚生センター・ 保健所名	報告数/定点数	迅速診断キット		その他※2	合計
		A型	B型		
新川	7 / 7	202	1	6	209
中部	5 / 5	191	0	28	219
高岡	12 / 13	250	0	49	299
砺波	7 / 7	225	0	2	227
富山市	15 / 15	639	4	48	691
富山県	46 / 47※1	1,507	5	133	1,645
富山県累計（2025年36週～）		12,411	32	1,077	13,520

※1 47の定点医療機関のうち、インフルエンザと診断した医療機関が46か所あったことを示します。

※2 「その他」には、臨床症状等によりインフルエンザと診断したが型別までは不明な患者や迅速診断キットの結果がA型とB型共に陽性の患者が対象となります。



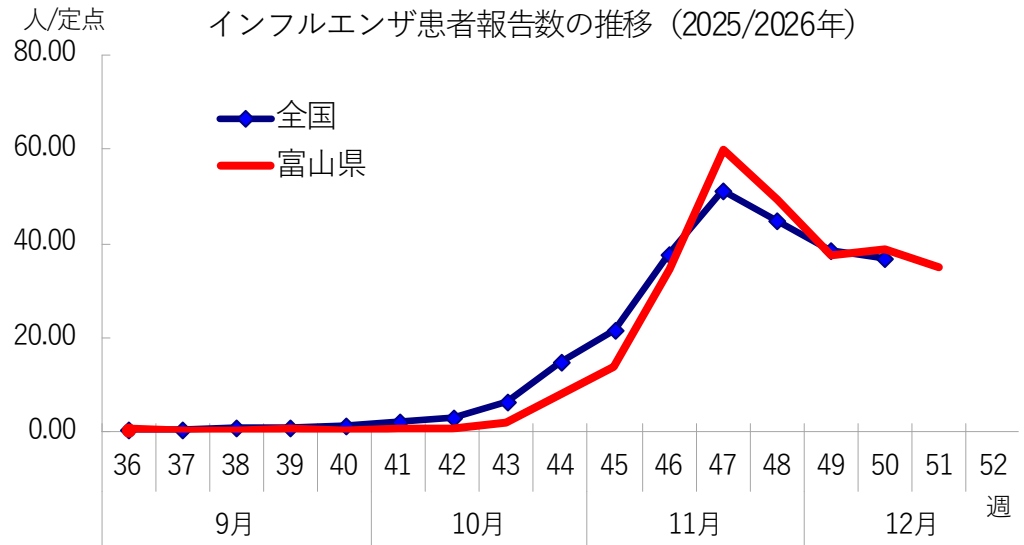
インフルエンザ情報（全国、富山県の患者報告状況）

● 定点医療機関からのインフルエンザ患者報告状況 第 51 週（12/15～12/21）

富山県 35.00 人/定点 [新川（29.86）、中部（43.80）、高岡（23.00）、砺波（32.43）、富山市（46.07）]

今週の県内の患者報告数は、35.00 人/定点となり、先週(38.85 人/定点)より減少しました。

インフルエンザ患者報告数の推移（2025/2026年）

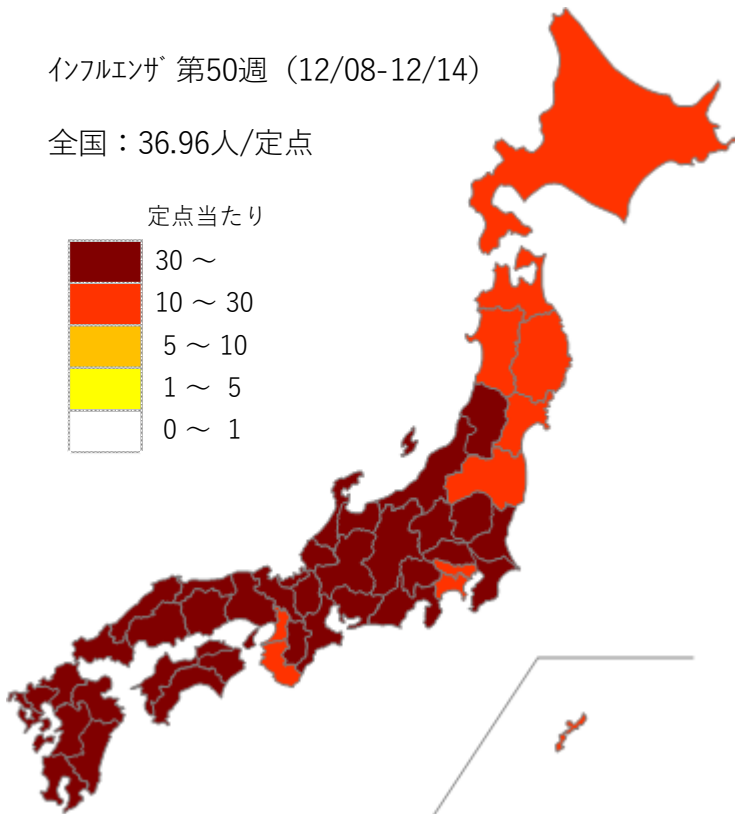
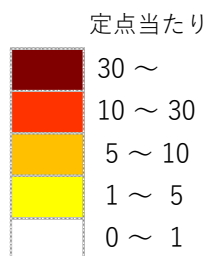


● 都道府県別インフルエンザ患者報告状況 第 50 週（12/8～12/14）

全国患者報告数は、定点医療機関あたり 36.96 人となり、前週の 38.59 人より減少しました。20 県で前週より増加しています。27 都道府県で前週より減少しています。

インフルエンザ* 第50週（12/08-12/14）

全国：36.96人/定点



都道府県	人/定点	都道府県	人/定点
北海道	23.25 ↓	滋賀県	38.71 ↑
青森県	23.96 ↓	京都府	41.85 ↓
岩手県	23.86 ↓	大阪府	25.23 ↓
宮城県	24.07 ↓	兵庫県	35.49 ↓
秋田県	13.28 ↓	奈良県	30.26 ↓
山形県	32.36 ↓	和歌山県	23.38 ↓
福島県	18.67 ↓	鳥取県	39.14 ↑
茨城県	35.49 ↓	島根県	53.25 ↑
栃木県	32.19 ↓	岡山県	53.68 ↑
群馬県	30.02 ↓	広島県	41.00 ↑
埼玉県	37.94 ↓	山口県	57.75 ↑
千葉県	31.79 ↓	徳島県	52.61 ↑
東京都	17.80 ↓	香川県	63.65 ↑
神奈川県	26.27 ↓	愛媛県	55.05 ↑
新潟県	40.20 ↓	高知県	56.37 ↑
富山県	38.85 ↑	福岡県	75.39 ↑
石川県	37.53 ↓	佐賀県	48.13 ↑
福井県	35.79 ↓	長崎県	60.00 ↑
山梨県	41.71 ↑	熊本県	62.92 ↑
長野県	46.64 ↓	大分県	56.28 ↑
岐阜県	34.40 ↓	宮崎県	99.93 ↑
静岡県	40.99 ↑	鹿児島県	75.14 ↑
愛知県	51.79 ↓	沖縄県	14.16 ↓
三重県	36.90 ↓	全国	36.96 ↓

